
Do you like Alice?Do you know Alice?

小野葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Do you like Alice? Do you know Alice?

【Nコード】

N1664I

【作者名】

小野葉

【あらすじ】

アリスの居なくなった不思議の国。

そこは激しい喪失感に襲われた。

そこで、周りのみんなは決めたのです。

五年に一回、アリスという名前の少女を連れてこよう。

そうすればアリスそっくりな子がでてくると…。

不思議の国のメンバーにアリスが愛されまくりです。

でも、それは私に？

それとも初代アリス？

キャラクター紹介（前書き）

この小説は、毎週土曜日に投稿しますので、よろしく願います。

多少グロイ表現を含むので、苦手な方を読まないほうがいいと思います。

キャラクター紹介

ちょっと危ない人物紹介

伯爵

本作では、アリスを愛するがゆえに傷つけてしまう哀れな人一号。いつかナイフを持ってアリスちゃんに襲いかかりそうで怖いです。

王女

ガールズラブですね？
でも、ちょっと違います。
同じ愛でも、それに込められてる思いは全然違うんです。
なんかアリスを愛しすぎてヤンデレ化してます…。

レイア

剣術（剣道）の達人！！
剣道部主将。

アリスに純愛なラブ。

アージュ

アリスが好き。

でも、素直になれない。

キザな一面がかなりあり。

アリス

学生。

レイアとは幼なじみ。

天然の純情。

白ウサギ

臆病者の小心者

プロローグ（前書き）

軽いヤンデレ表現があります。
それでも大丈夫という方はどうぞー
…。

プロローグ

プロローグ

く伯爵く

アリス、アリス、さあ、その可愛い顔を見せておくれ。

ああ、僕の愛しいアリス。

どうかいつまでもそのままで…。

僕の傍に、僕の隣にいつまでも居ておくれ。

永遠に…。

僕の愛するアリス、どうか私を愛しておくれ。

そうでないと嫉妬に狂ってしまいそうだ。

ああ、僕の…僕の可愛いアリス、君が私を愛せないというのであれば、いつそのこと君を殺してしまおう。

僕の…

可愛い…

アリス…。

く王女く

ああ、私のアリス。

貴女は私だけのものなのよ？

貴女が私以外の人間と一緒に居るところなんて見たくないわ…。

ねえ、アリス。私と死んでくだらない？

もう、私達以外のものが居るこの世界が嫌になってしまったんですのよ。

さあ、

アリス。

私と

一緒に

死にましょう…。

くレイアく

なあ、アリス。

俺さ、お前の事…守るから。

何があるうとも…お前の事、絶対に守ってやるから。

俺の命に代えても。

だから、せめて俺の気持ちを忘れないでくれ。

アリス、

…愛してる。

「アージュ」

アリス…か。

僕は別に君の事なんかどうでもいいさ。

でも、君は利用価値のある人間だ。

だから、少しは守ってあげるよ。

僕以外の全てから。

でも勘違いしないでね、アリス。

僕と君は契約してるだけなんだ。

契約が終了しだい、君を捨てるからね。

分かったかい？

では、契約しよう。

『永久に君は僕を愛する事』

さあ、

契約のキスを

交わそうか…？

くチエシヤ猫く

アリス、

君に従おう。

僕は貴女の猫だよ？

貴女だけの猫さ。

貴女だけに従おう。

貴女だけに忠誠を誓おう。

そして、

貴女だけを…

貴女だけを愛すると誓おう。

く白ウサギく

特別ななんてもの、
望みません。

ただ、

みんなに分け与える愛を僕にもくれればそれでいいです。

永遠の片思いをアリスに…。

『『『さあ、僕らの愛するアリス。僕らの元へと帰っておいで。ア
リス、アリス、アリス…』』』

プロローグ（後書き）

次回は、本編に突入！！です！！！！！！

D o y o u k n o w A l i c e ?

D o y o u k n o w A l i c e ?

私、アリス・ハルバードの朝は、一杯のモーニングティーによって始まる。

美しい真紅のドレスに着替えた私の朝ご飯は上品なサワークリームを添えたスコーンと紅茶。

鳥のさえずりを聞きながらの優雅な朝食……。

うーん、最高だわ。

そんな私の元へ、双子の妹と弟がかけてくる。

「ねーさま」

「ねーさま」

「「アリスねーさまあ！！オハヨー」」

双子の妹と弟のサラとサナ。

二人は綺麗な赤いドレスと赤いスーツを着ている。

因みに、妹のほうがサラで弟のほうがサナ。

二人はとてもそっくりの顔で、私以外は見分けられないほどの。

「「ねえねえアリスねーさま？」」

「なあに？サラ、サナ」

「「とっても美味しそうな“パンの耳”を食べてるね。私達（僕達）にもちよーだい」」

な、何を言い出すかと思えばこの子達は……！！

「何を言ってるの？私はスコーンを食べているのよ？」

「「じゃあ、そのドロップ飴を溶かしたジュースを頂戴」」

サラは右手を、サナは左手を差し出す。

「何を言ってるの？私がそんな貧乏臭い物を口にする訳がないじゃない」

私はあからさまに顔をしかめる。

「「でも、ねーさま……」」

「なあに？」

「私達（僕達）は、本当に貧乏じゃないか」

双子のこの言葉により、私にかかっていた魔法は解けた。
真紅のドレスは、すすけた学校の赤い制服に。
鳥のさえずりはカラス達の鳴き声に。

上品な朝食は、サラとサナが言った通り、パンの耳とドロップ飴を溶かした水に成り果てた。
もちろんサラとサナの洋服も継ぎ接ぎだらけのボロい服に。

「アリスねーさまもさあ、いい加減現実を見ようよ。うちは、ド貧乏なんだよ？セレブなんて夢のまた夢さ」

双子が深々とため息をつく。
酷いなあ…。

夢のまた夢だからこそ、その甘い妄想を捨てきれないというのに、この双子は……！！
私は拳をついつい握りしめる。

「アリスねーさま、私達（僕達）を怒るのはいいけど、学校に遅刻するよー？」

双子の声で、私は改めて時計を見る。
今は午前9時。

学校に着かなくちゃ行けない時間は、9時5分。
……………。

「遅刻するー！！！！」

私はイスの隣に置いてあったカバンをひつつかむと、急いで家を出た……。

+++++

「見なよ、猫。僕らの次のアリスだよ」

子供っぽい声がし、その声が嬉しそうに笑う。

「今度のアリスはいささか子供っぽいね……。あの人を好きになれるかどうか、いささか疑問だよ」

猫と呼ばれた男が返す。

「な！！！！猫、君は僕らのアリスを侮辱するのかい！？」

「そうとは言ってないだろう？落ち着いて、ネオ」

猫がネオと呼ばれた少年をたしなめる。

「じゃあどういう意味なんだい、猫。言ってごらん？」

「今回のアリスの技量を疑ってるのさ。前回のアリスは、僕らの愛に耐えきれずに死んでしまったろう？だから、アリスを心配してるのさ」

「そうか……。それは心配だね。僕らの大切な大切なアリスが今回も自殺してしまったら、僕はショックで死んじゃうかも……」

そんなネオの肩を誰かが叩く。

「心配する方がおかしいわ。私達のアリスよ？2人も続けて自殺なんてするはずないじゃない」

その人物は、女性と断定できる甲高い声でそう言った。

「まあ、今はとにかく、彼女を観察だよ。僕らは15年間、ずうーっと今日という日を待ってたんだ。失敗は許せないからね」

「分かってるよ、猫。僕らはアリスが第一なんだから」

「私もよ。アリスが一番大切。アリスを一番に考えましょう」

一呼吸おいて、全員が声を合わせる。

「『全ては、アリスの為に』」

3人の特徴的な声が、暗闇の中に響いた――。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1664i/>

Do you like Alice?Do you know Alice?

2010年10月11日02時22分発行